



## 四旬節～復活祭のご案内

### †主の平和

今年の四旬節は2月14日灰の水曜日から始まります。復活祭前の40日間(日曜日を入れると46日間)を準備の期間として四旬節と呼んでいます。

復活祭に洗礼を受ける志願者だけでなく、教会を挙げて復活祭をふさわしく迎えることができるように祈りと断食をする習慣が初期の時代から始まりました。キリストが宣教活動を始められる前に、荒野野に行って、祈りと断食に40日間過ごされたことを思い起こし、私たちもキリストにならって回心し、祈りと断食と施しをささげて過ごすことがすすめられます。断食の犠牲を貧しい人のための施しとしてささげることや、タバコなど嗜好品を断つことなどもふさわしい行いとしてすすめられます。四旬節の断食には過度の摂取を避け、貧窮を助けるという意味もあるからです。昔は四旬節中、毎金曜断食しましたが、今日わが国では、灰の水曜日と聖金曜日の2回だけです。

四旬節中は毎金曜日、午前11時～十字架の道行の祈りの集いをします。

四旬節から復活祭までの教会行事は下記の通りです。

### 記

†2月14日(水) **灰の水曜日** 午前11時、午後7時 ミサ (灰の祝福と塗布) ※**大齋日・小齋日**  
※大齋…1日一回だけ普通に食事を摂ること、その他に朝ともう一回は少量の食事を摂ることができます。満21歳より満59歳の方は守ってください。  
※小齋…肉類を食べないことですが、各自の判断で、償いの他の形式、特に愛のわざ、信心業節制のわざの実行をもって代えることができ、満14歳以上の方が守ります。  
但し、大齋・小齋とも、病人や妊娠中などの理由のある人は義務がありません。

†2月16日(金) 午前11時 十字架の道行の信心、午前11時30分 初金ミサ

†2月18日(日) **四旬節第1主日** 午前7時、9時 ミサ  
9時～のミサで**洗礼志願式**があります。(フォールテン神父 司式)

†2月23日(金) 午前11時 十字架の道行の信心、午前11時30分 ミサ

†2月25日(日) **四旬節第2主日** 午前7時、9時 ミサ

†3月2日(金) 午前11時 十字架の道行の信心、午前11時30分 ミサ

†3月4日(日) **四旬節第3主日** 午前7時 ミサ (フォールテン神父 司式)  
9時 ミサ (中村克徳神父様 司式)

**黙想会** テーマ:「イエスの受難と私たちの信仰」 指導:中村神父様(池田・日生中央教会)  
10:30 ~ 11:20 講話①  
11:30 ~ 12:20 講話②  
12:20 ~ 昼食  
13:00 ~ ゆるしの秘跡(中村神父様、後藤神父)

\*この日にゆるしの秘跡を受けられない場合については、週報で別途ご案内いたします

†3月9日(金) 午前11時 十字架の道行の信心、午前11時30分 ミサ

†3月11日(日) **四旬節第4主日** 午前7時、9時 ミサ  
9時～のミサは、教会学校初等部卒業の、子どもと共に捧げるミサです。

†3月16日(金) 午前11時 十字架の道行の信心、午前11時30分 ミサ

†3月18日(日) **四旬節第5主日** 午前7時、9時 ミサ

†3月23日(金) 午前11時 十字架の道行の信心、午前11時30分 ミサ

†3月25日(日) **受難の主日(枝の主日) 聖週間** 午前7時、9時 ミサ  
キリストが弟子たちとともにエルサレムに上り、群集が枝をかざしてキリストを迎えたことを記念します。聖週間の始まりです。ミサの前に聖堂外にて枝の祝福をして入堂します。

†3月28日(水) **受難の水曜日** 午前11時 聖香油のミサ (玉造教会にて)

†3月29日(木) **聖木曜日(主の晩餐)** 午後7時 ミサ  
聖体の秘跡の制定を記念して、主の晩餐の夕べのミサが行なわれ、洗足式もミサ中に行なわれます。『聖なる過越しの3日間』が始まり、キリストが死を過ぎ越して新しい命に移られたことを記念します。

†3月30日(金) **聖金曜日(主の受難)** 午前11時 十字架の道行、午後7時 主の受難の祭儀  
キリストがご自分の死をもって私たちの死を砕き、贖ってくださったことを記念します。この日は世界中でミサが行なわれません。聖櫃もからになり、祭壇の布も外して、十字架のみになります。 ※献金は聖地エルサレムのために使われます。 ※**大齋日・小齋日**

†3月31日(土) **復活徹夜祭** 午後7時 ミサ  
『全ての聖なる徹夜祭の母』といわれる復活徹夜祭は、キリストの復活を徹夜で待望し秘跡をもって祝います。ミサ中、**入信の秘跡**と**転会式**が行われます。

†4月1日(日) **主の復活の祭日** 午前7時、9時 ミサ  
9時～のミサの中で、**子どもの初聖体**があります。また、ミサ後のパーティで主のご復活をともに祝い、受洗された方々や初聖体の子どもたちと喜びを分かち合いましょう。